

第4回 化学物質管理とリスクコミュニケーションに関する表彰 福島第一・第二工場がPRTR大賞を受賞

当社の福島第一・第二工場が、社団法人環境情報科学センターが主催する「第4回化学物質管理とリスクコミュニケーションに関する表彰 PRTR 大賞 2007」（後援：経済産業省、環境省他）において、「PRTR 大賞」を受賞いたしました。

PRTR（Pollutant Release and Transfer Register：化学物質排出移動量届出制度）とは、有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握・集計し、公表する仕組みです。事業者が自ら化学物質の排出に係わる環境負荷を把握して管理するとともに、その状況に関して市民・行政とコミュニケーションをし、理解を得ることを目的としています。

PRTR 大賞は、PRTR 制度の趣旨を理解し率先して化学物質管理を行い、市民の理解を得るためのコミュニケーションを積極的に実践している企業の活動を表彰するものです。主催の社団法人環境情報科学センターにより 2004 年に創設され、今年で 4 回目となります。

今回の大賞受賞の理由としては、福島第一・第二工場において化学物質管理委員会を設置し、同委員会のメンバーを中心とした定期的な工場内のパトロールにより、職場改善と化学物質削減対策を図っていること、また、測定が困難な物質に関しては独自の簡易モニタリングの方法により、地域住民宅の庭先をお借りして測定することで周辺環境に影響がないレベルであることを確認していることが挙げられています。さらに、モニター委員会と称して地域の 2 町内会とのコミュニケーションを 40 年にわたり継続し、最新の環境問題をまじえた“わかりやすい”をモットーとする、手作りの資料でコミュニケーションを図るなどの様々な工夫や取組みが高く評価され、大賞を受賞いたしました。

当社ではこの度の大賞受賞を励みとして、今後とも日東紡の経営理念、日東紡宣言および日東紡環境憲章を念頭に、さらなる環境負荷低減と地域社会との共生に努めてまいります。